

アムンディ・ダブルウォッチ

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2016年9月5日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2016年1月29日から2021年9月6日までです。
運用方針	世界の株式、債券、不動産投資信託証券（各証券に関連する上場投資信託証券含む）および短期金融資産など、さまざまな資産への資産配分を機動的に変更することにより、基準価額の下落を抑え、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。日々の基準価額の最高値の90%を「フロア水準」とし、基準価額の下落を「フロア水準」までに抑えた運用を目指します。基準価額が最高値を更新する毎に、フロア水準も上昇し、一旦上昇したフロア水準は下がりません。ただし、基準価額がフロア水準以下に下落した場合には、円建の短期金融資産等を中心とした安定運用に切り替えを行い、繰上償還します。組入外貨建資産については、機動的に為替ヘッジを行います。また、アムンディ アセットマネジメントに運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	世界の株式、債券、不動産投資信託証券（各証券に関連する上場投資信託証券含む）および短期金融資産など
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（年1回決算、原則として毎年9月5日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<http://www.amundi.co.jp>

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 額)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	株 式 先 物 率 比	債 券 先 物 率 比	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
(設 定 日) 2016年1月29日	10,000	—	—	—	—	—	3,661
1期 (2016年9月5日)	10,336	0	3.4	2.5	—	54.7	15,925

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 株式先物比率、債券先物比率は「買建比率-売建比率」です。以下同じ。

(注3) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■当期中の基準価額等の推移

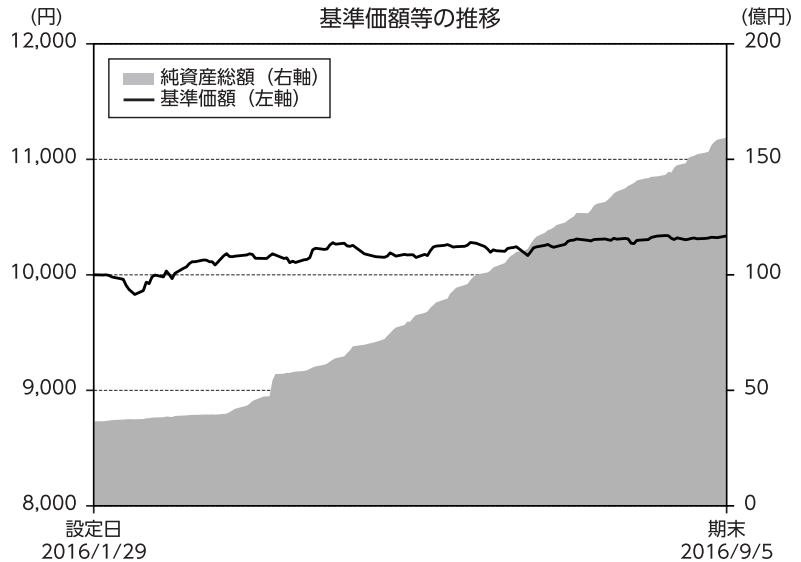
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 式 先 物 率 比	債 券 先 物 率 比	投 資 信 託 組 入 比 率
(設 定 日) 2016年1月29日	10,000	—	—	—	—
1月末	10,000	0.0	—	—	—
2月末	10,056	0.6	2.5	—	60.8
3月末	10,181	1.8	2.1	—	48.3
4月末	10,255	2.6	4.1	—	56.7
5月末	10,262	2.6	5.8	—	56.4
6月末	10,233	2.3	1.3	6.9	54.1
7月末	10,308	3.1	1.5	7.0	56.8
8月末	10,326	3.3	2.5	—	55.3
(期 末) 2016年9月5日	10,336	3.4	2.5	—	54.7

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額(10,000円)です。

(注2) 騰落率は設定日比です。

【基準価額等の推移】

設定日	10,000円
第1期末	10,336円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	3.4%



【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 2016年2月中旬以降、主要中央銀行による緩和的な金融政策を背景に株式が上昇したこと
- ② 設定日から2016年7月上旬まで、世界的に金利が低下（債券価格は上昇）したこと
- ③ 3月にECB（欧州中央銀行）が発表した社債購入プログラム等を背景に、社債が全般的に良好に推移したこと

下落要因

- ① 設定日から2月中旬にかけて、株式市場、中でも日本株が下落したこと
- ② 6月に英国の国民投票の影響を受けてリスク資産が全般的に下落したこと

【投資環境】

＜世界株式市場＞

世界株式市場は、中国をめぐる懸念、原油価格の急落、米国の利上げと日銀のマイナス金利政策の導入、欧州金融機関の業績悪化懸念を背景に投資家心理は大きく悪化し、2016年2月に株式市場は大きく下落しました。しかし、FRB（米連邦準備理事会）が早期の追加利上げに警戒的なことが明らかになると、2月中旬に株式を含むリスク資産は上昇に転じました。英国の国民投票におけるEU（欧州連合）離脱の選択により株式市場は一時大きく下落しましたが、堅調な経済指標の発表と、主要中央銀行による緩和的な金融政策を背景に、世界株式市場は期末に向けておおむね堅調に推移しました。ただし、日本の株式市場は3月以降、おおむね横ばいでの推移となりました。

＜世界債券市場＞

1月末に、日銀が突然マイナス金利の導入を決定し、世界的に金利は低下傾向となりました。ユーロ圏での追加金融緩和期待も金利低下に寄与しました。FRBによる追加利上げ見送り、英国の国民投票におけるEU離脱の選択を背景に、6月から7月上旬にかけて金利は再び低下が顕著となりました。社債市場では、3月上旬にECBが社債購入プログラムの発表し、それ以降は世界的に社債市場のスプレッド（国債との利回り格差）が縮小し、良好なリターンとなりました。金利低下による投資家の利回り追求の動きも社債市場のリターンを下支えしました。ただし6月23日の英国の国民投票の前後は欧州市場を中心に軟調に推移しました。

＜為替市場＞

当期の米ドル円為替相場は、設定日の1米ドル＝121円台で始まりました。日銀の金融政策をめぐり、設定日から2月中旬まで円高が大きく進展しました。3月末まではおおむね横ばいで推移していたものの、日本の為替介入に対する姿勢が弱いとみられたことや、4月末に予想に反して日銀が政策据え置きを決めたため、一気に円が上昇しました。5月は6月の米利上げが意識されて米ドルがじりじりと上昇しましたが、その後、消費増税先送り決定、軟調な米国の雇用統計、英国の国民投票でEU離脱が選択された等により円買いが進みました。当期末は、FRB高官による利上げに前向きな発言を材料に米ドルが買い戻され、1米ドル＝103円台で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

当期を通じ、フロア水準を意識した慎重なスタンスで運用を行いました。全般的に市場は好調ながらも値動きの激しい市場環境において、株式や社債といったリスク資産と国債との間で適切にバランスを取った資産配分を行いました。積極的な金融政策に支えられたユーロ圏と日本における成長率の改善と、新興国の安定化により、2016年の世界のGDP（国内総生産）成長率は維持されるという基本シナリオに従って運用を行いました。運用開始から慎重に組入れ

を開始し、2月中旬にポートフォリオ構築を完了しました。当初は株式への比率を約20%としていましたが、市場の変動性の高まりに備え、約10%まで引き下げました。債券については、おおむね約40%を維持しました。為替については運用方針通りフルヘッジを維持しました。

(アムンディ アセットマネジメント)

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

短期的には市場心理は不安定な動きを示すと考えられるものの、リスク資産については強気の見方を維持しています。世界の成長率が3%に近い水準を維持する限り、経済状況はリスク資産、特に株式市場を下支えすると考えます。当面の間、FRBの再利上げは容易ではないとみられるため、株式市場の中では今後数ヶ月は新興国株式が良好なリターンになると予想しています。国債市場に関しては、米国経済はインフレ率は抑制されつつも緩やかなペースで成長するとみられ、FRBは漸進的に金融を引き締めると予想されるため、注意が必要です。社債市場はECBの購入プログラムが引き続き下支え要因になるとみています。

当ファンドは、中長期的にはリスク資産に強気な見方を維持しているものの、短期的には、リスクを適切な水準に維持しバランスのとれた資産配分とする、慎重な姿勢を継続する方針です。

(アムンディ アセットマネジメント)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 1 期 (2016年 1 月 29 日 ～2016年 9 月 5 日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	80円 (38) (40) (2)	0.783% (0.372) (0.391) (0.020)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券) (先物・オプション)	5 (5) (0)	0.047 (0.045) (0.001)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (1) (1) (0)	0.021 (0.013) (0.006) (0.002)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	87	0.851	

期中の平均基準価額は10,202円です。

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■期中の売買及び取引の状況（2016年1月29日から2016年9月5日まで）

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES USD CORP BND	66,961	7,643	—	—
	AMUNDI ETF US TREASURY 7-10	25,152	6,443	—	—
	AMUNDI ETF GLOBAL EMERGING B	5,000	661	—	—
	ISHARES USD HY CORP BND	22,204	2,219	—	—
	ISHARES GLOBAL HIGH YIELD CO	31,740	1,493	—	—
小 計	口 数 ・ 金 額	151,057	18,460	—	—
ユ	フランス	口	千ユーロ	口	千ユーロ
	LYXOR UCITS ETF EURO STOXX 5	120,082	3,468	120,082	3,626
	ISHARES USD TREASURY BND7-10	45,692	8,346	—	—
	AMUNDI ETF MSCI EMU UCITS	42,548	6,787	—	—
	LYXOR EURO CORPORATE BD UCITS ETF-C-EUR	17,294	2,472	7,950	1,142
	AMUNDI ETF CASH 3 MONTHS EUR	105,500	12,699	44,000	5,288
	AMUNDI ETF MSCI WORLD UCITS	24,671	4,873	11,919	2,446
	AMUNDI ETF EURO CORPORATES-C	52,329	11,209	—	—
	AMUNDI ETF EUR HY LIQ BD IBX	28,331	5,551	—	—
	AMUNDI ETF JPX-NK 400 HGD EU	17,743	2,217	—	—
	AMUNDI BBB EUR CORP INV GR	766,970	11,163	—	—
小 計	口 数 ・ 金 額	1,221,160	68,789	183,951	12,504
国	アイルランド	口	千ユーロ	口	千ユーロ
	ISHARES EURO AGGREGATE BND	7,230	881	7,230	884
	小 計	口 数 ・ 金 額	7,230	881	7,230
ユ ー ロ 合 計		1,228,390	69,670	191,181	13,388

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
		百万円	百万円	百万円	百万円
外 国	株式先物取引	968	578	—	—
	債券先物取引	930	941	—	—
	その他先物取引	1,227	—	—	—

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) 金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）における日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

■主要な売買銘柄 (2016年1月29日から2016年9月5日まで)
投資信託証券

買			売		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
	口	千円		口	千円
AMUNDI ETF CASH 3 MONTHS EUR(ユーロ・フランス)	105,500	1,483,640	AMUNDI ETF CASH 3 MONTHS EUR(ユーロ・フランス)	44,000	612,158
AMUNDI ETF EURO CORPORATES-C(ユーロ・フランス)	52,329	1,328,917	LYXOR UCITS ETF EURO STOXX 5(ユーロ・フランス)	120,082	450,082
AMUNDI BBB EUR CORP INV GR(ユーロ・フランス)	766,970	1,323,818	AMUNDI ETF MSCI WORLD UCITS(ユーロ・フランス)	11,919	279,871
ISHARES USD TREASURY BND7-10(ユーロ・フランス)	45,692	979,365	LYXOR EURO CORPORATE BD UCITS ETF-C-EUR(ユーロ・フランス)	7,950	141,810
ISHARES USD CORP BND(アメリカ)	66,961	837,454	ISHARES EURO AGGREGATE BND(ユーロ・アイルランド)	7,230	109,765
AMUNDI ETF MSCI EMU UCITS(ユーロ・フランス)	42,548	823,556			
AMUNDI ETF US TREASURY 7-10(アメリカ)	25,152	704,466			
AMUNDI ETF EUR HY LIQ BD IBX(ユーロ・フランス)	28,331	672,987			
AMUNDI ETF MSCI WORLD UCITS(ユーロ・フランス)	24,671	601,721			
LYXOR UCITS ETF EURO STOXX 5(ユーロ・フランス)	120,082	430,499			

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は、外貨額を約定日の属する月の月末(決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等 (2016年1月29日から2016年9月5日まで)

(1) 期中の利害関係人との取引状況

区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	10,342	—	—	1,593	—	—
株式先物取引	968	—	—	578	—	—
債券先物取引	930	—	—	941	—	—
その他先物取引	1,227	—	—	—	—	—
為替直物取引	44,533	4,246	9.5	44,492	4,242	9.5

(2) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当	期
売買委託手数料総額(A)		4,037千円
うち利害関係人への支払額(B)		—千円
(B) / (A)		—%

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはクレディ・アグリコル銀行です。

■組入資産の明細 (2016年9月5日現在)

(1) 外国投資信託証券

銘	柄	口数	当 期 末		組入比率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
		口	千米ドル	千円	%
(米ドル)		口			
	ISHARES USD CORP BND	66,961	7,989	830,378	5.2
	AMUNDI ETF US TREASURY 7-10	25,152	6,533	678,998	4.3
	AMUNDI ETF GLOBAL EMERGING B	5,000	659	68,515	0.4
	ISHARES USD HY CORP BND	22,204	2,327	241,889	1.5
	ISHARES GLOBAL HIGH YIELD CO	31,740	1,560	162,132	1.0
小 計	口数・金額	151,057	19,069	1,981,915	
	銘柄数<比率>	5	—	<12.4%>	
(ユーロ)			千ユーロ		
	ISHARES USD TREASURY BND7-10	45,692	8,436	978,420	6.1
	AMUNDI ETF MSCI EMU UCITS	42,548	7,134	827,502	5.2
	LYXOR EURO CORPORATE BD UCITS ETF-C-EUR	9,344	1,377	159,815	1.0
	AMUNDI ETF CASH 3 MONTHS EUR	61,500	7,391	857,251	5.4
	AMUNDI ETF MSCI WORLD UCITS	12,752	2,765	320,775	2.0
	AMUNDI ETF EURO CORPORATES-C	52,329	11,400	1,322,278	8.3
	AMUNDI ETF EUR HY LIQ BD IBX	28,331	5,880	682,072	4.3
	AMUNDI ETF JPX-NK 400 HGD EU	17,743	2,226	258,175	1.6
	AMUNDI BBB EUR CORP INV GR	766,970	11,383	1,320,234	8.3
小 計	口数・金額	1,037,209	57,997	6,726,527	
	銘柄数<比率>	9	—	<42.2%>	
合 計	口数・金額	1,188,266	—	8,708,442	
	銘柄数<比率>	14	—	<54.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じ。

(注2) <>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨てです。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘		柄	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
			百万円	百万円
外 国	株 式 先 物 取 引	MINI MSCI EM	108	—
		NIKKEI 225	35	—
		EURO STOXX 5	200	—
		FTSE 100 IDX	47	—
		EURO E-MINI	1,225	—
	そ の 他 先 物 取 引			

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) —印は組入れなしです。

■投資信託財産の構成 (2016年9月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	8,708,442	53.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,517,424	46.3
投 資 信 託 財 産 総 額	16,225,866	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (8,923,159千円) の投資信託財産総額 (16,225,866千円) に対する比率は55.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年9月5日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=103.93円、1ユーロ=115.98円、1英ポンド=138.15円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2016年9月5日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	24,569,439,005円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,371,002,191
投 資 証 券 (評 価 額)	8,708,442,519
未 収 入 金	8,370,732,863
未 収 配 当 金	476,584
差 入 委 託 証 拠 金	118,784,848
(B) 負 債	8,644,108,185
未 払 金	8,567,725,170
未 払 解 約 金	56,051,818
未 払 信 託 報 酬	20,153,348
未 払 利 息	17,979
そ の 他 未 払 費 用	159,870
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	15,925,330,820
元 本	15,408,302,673
次 期 繰 越 損 益 金	517,028,147
(D) 受 益 権 総 口 数	15,408,302,673口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,336円

(注記事項)

期首元本額	3,661,306,267円
期中追加設定元本額	12,508,240,242円
期中一部解約元本額	761,243,836円

■損益の状況

当期 自2016年1月29日 至2016年9月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	13,682,178円
受 取 配 当 金	15,432,964
受 取 利 息	36,122
支 払 利 息	△1,786,908
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	248,972,754
売 買 益	565,152,592
売 買 損	△316,179,838
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	40,873,515
取 引 益	54,403,360
取 引 損	△13,529,845
(D) 信 託 報 酬 等	△68,841,784
(E) 当 期 損 益 金 (A + B + C + D)	234,686,663
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	282,341,484
(配 当 等 相 当 額)	(5,803,576)
(売 買 損 益 相 当 額)	(276,537,908)
(G) 計 (E + F)	517,028,147
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	517,028,147
追 加 信 託 差 損 益 金	282,341,484
(配 当 等 相 当 額)	(5,803,576)
(売 買 損 益 相 当 額)	(276,537,908)
分 配 準 備 積 立 金	234,686,663

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用
信託約款第41条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の57以内の率を乗じて得た額を支払っております。

■分配金のお知らせ

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項 目	第 1 期
	(2016年1月29日～2016年9月5日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	335

(注1)「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2)「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。